一般社団法人香川県卓球協会

**第75回東京卓球選手権大会県予選会（ジュニアの部）にあたっての**

**安全対策ガイドライン**

**１．大会を開催するにあたって**

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

（１）顧問・指導者は必ず、選手および保護者に参加の意思を確認し、大会参加を強要することがないよう配慮する。

（２）発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に

関しても顧問・指導者は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速や

かに帰宅させること。

**２．大会中の具体的な感染症対策**

（１）無観客試合とする。会場への入場は選手、顧問、指導者（アドバイザーとして選手１

名に対して１名まで）、帯同審判員（選手１名に対して１名まで）、役員のみとする。ただし、小学生以下の選手については選手1名につき１名の保護者の入場を認める。会場への入場はチーム毎とし、入口で顧問・指導者から選手の健康状態を報告することとする。

（２）競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの基本的な感染症対

策を徹底する。

（３）会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹸を準備する。

（４）参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。

（５）できるだけ距離をとって観覧することとし、応援は拍手のみとする。

（６）更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。

（７）敗退したチームは速やかに会場から退出する。

（８）開閉会式は簡略化して行う。

（９）公共交通機関を利用して移動する際には、必ずマスクを着用するとともに乗車マナー

を遵守すること。

**３．試合中の具体的な感染症対策**

（１）各台にアルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。

（２）選手同士および選手と審判の握手は行わない。

（３）選手はプレー中大きな声を出すことを控える。

（４）自分の試合中以外はマスクを着用する。

（５）タオルや飲料は共有を避け、個人のものを使用させる。

（６）日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。